

年間授業進度計画予定表

No. _____

教科名	専門料理実習Ⅰ
対象学年	1年
対象学科	研究科
テキスト・教材	レシピのプリントを配布
授業形態	対面授業のみ実施 ・ 対面授業と遠隔授業の併用実施 ・ 遠隔授業のみ実施
実務経験	有 ・ 無

年間規定時間数	168H
週あたり時間数予定	6H
到達目標	基礎から応用まで調理技術の習得 自己でレシピを作り制作までできる人材になる。
評価方法	実技試験での評価（80％） 授業への取り組み （10％） 課題への取り組み（10％）

予 定			
回数	コマ数	指導内容 ・ 実習内容	升斗（真）
1	6	実習①	
2	6	実習②	
3	6	実習③	
4	6	実習④	
5	6	実習⑤	
6	6	実習⑥	
7	6	実習⑦	
8	6	実習⑧	
9	6	実習⑨	
10	6	実習⑩	
11	6	実習⑪	
12	6	実習⑫	
13	6	実習⑬	
14	6	実習⑭	
15	6	実習⑮	
コマ数 合計	90		

予 定			
回数	コマ数	指導内容 ・ 実習内容	升斗（真）
16	6	実習⑯	
17	6	実習⑰	
18	6	実習⑱	
19	6	実習⑲	
20	6	実習⑳	
21	6	実習㉑	
22	6	実習㉒	
23	6	実習㉓	
24	6	実習㉔	
25	6	実習㉕	
26	6	実習㉖	
27	6	実習㉗	
28	6	実習㉘	
29			
30			
コマ数 合計	78		

年間授業進度計画予定表

No. _____

教科名	専門料理実習Ⅱ
対象学年	1年
対象学科	研究科
テキスト・教材	レシピのプリントを配布
授業形態	対面授業のみ実施 ・ 対面授業と遠隔授業の併用実施 ・ 遠隔授業のみ実施
実務経験	有 ・ 無

年間規定時間数	192H
週あたり時間数予定	6H
到達目標	基礎から応用まで調理技術の習得 自分でレシピを作り制作までできる人材になる。
評価方法	実技試験での評価（80％） 授業への取り組み（10％） 課題への取り組み（10％）

予 定			
回数	コマ数	指導内容 ・ 実習内容	升付（真）
1	6	実習①	
2	6	実習②	
3	6	実習③	
4	6	実習④	
5	6	実習⑤	
6	6	実習⑥	
7	6	実習⑦	
8	6	実習⑧	
9	6	実習⑨	
10	6	実習⑩	
11	6	実習⑪	
12	6	実習⑫	
13	6	実習⑬	
14	6	実習⑭	
15	6	実習⑮	
コマ数合計	90		

予 定			
回数	コマ数	指導内容 ・ 実習内容	升付（真）
16	6	実習⑯	
17	6	実習⑰	
18	6	実習⑱	
19	7	実習⑲	
20	7	実習⑳	
21	7	実習㉑	
22	7	実習㉒	
23	7	実習㉓	
24	7	実習㉔	
25	7	実習㉕	
26	7	実習㉖	
27	7	実習㉗	
28	7	実習㉘	
29	7	実習㉙	
30	7	実習㉚	
コマ数合計	102		

年間授業進度計画予定表

No. _____

教科名	専門料理実習Ⅲ
対象学年	1年
対象学科	研究科
テキスト・教材	レシピのプリントを配布
授業形態	対面授業のみ実施 ・ 対面授業と遠隔授業の併用実施 ・ 遠隔授業のみ実施
実務経験	有 ・ 無

年間規定時間数	168H
週あたり時間数予定	6H
到達目標	基礎から応用まで調理技術の習得 自己でレシピを作り制作までできる人材になる。
評価方法	実技試験での評価（80％） 授業への取り組み （10％） 課題への取り組み（10％）

予 定			
回数	コマ数	指導内容 ・ 実習内容	升斗（真）
1	6	実習①	
2	6	実習②	
3	6	実習③	
4	6	実習④	
5	6	実習⑤	
6	6	実習⑥	
7	6	実習⑦	
8	6	実習⑧	
9	6	実習⑨	
10	6	実習⑩	
11	6	実習⑪	
12	6	実習⑫	
13	6	実習⑬	
14	6	実習⑭	
15	6	実習⑮	
コマ数 合計	90		

予 定			
回数	コマ数	指導内容 ・ 実習内容	升斗（真）
16	6	実習⑯	
17	6	実習⑰	
18	6	実習⑱	
19	6	実習⑲	
20	6	実習⑳	
21	6	実習㉑	
22	6	実習㉒	
23	6	実習㉓	
24	6	実習㉔	
25	6	実習㉕	
26	6	実習㉖	
27	6	実習㉗	
28	6	実習㉘	
29			
30			
コマ数 合計	78		

年間授業進度計画予定表

No. _____

教科名	専門料理実習Ⅳ
対象学年	1年
対象学科	研究科
テキスト・教材	レシピのプリントを配布
授業形態	対面授業のみ実施 ・ 対面授業と遠隔授業の併用実施 ・ 遠隔授業のみ実施
実務経験	○ 有 ・ 無

年間規定時間数	192H
週あたり時間数予定	6H
到達目標	基礎から応用まで調理技術の習得 自己でレシピを作り制作までできる人材になる。
評価方法	実技試験での評価（80％） 授業への取り組み（10％） 課題への取り組み（10％）

予 定			
回数	コマ数	指導内容 ・ 実習内容	升斗（真）
1	6	実習①	
2	6	実習②	
3	6	実習③	
4	6	実習④	
5	6	実習⑤	
6	6	実習⑥	
7	6	実習⑦	
8	6	実習⑧	
9	6	実習⑨	
10	6	実習⑩	
11	6	実習⑪	
12	6	実習⑫	
13	6	実習⑬	
14	6	実習⑭	
15	6	実習⑮	
コマ数 合計	90		

予 定			
回数	コマ数	指導内容 ・ 実習内容	升斗（真）
16	6	実習⑯	
17	6	実習⑰	
18	6	実習⑱	
19	7	実習⑲	
20	7	実習⑳	
21	7	実習㉑	
22	7	実習㉒	
23	7	実習㉓	
24	7	実習㉔	
25	7	実習㉕	
26	7	実習㉖	
27	7	実習㉗	
28	7	実習㉘	
29	7	実習㉙	
30	7	実習㉚	
コマ数 合計	102		